



家族経営協定を締結！ ゆとりある経営を目指して

12月9日（金）、中央公民館において、平成23年度家族経営協定調印式が行われました。

この協定は、家族が農業経営への参画を通して魅力ある経営の確立を目指し、経営方針や家族一人ひとりの役割、働きやすい環境づくりなどについて定めるものです。

今回、5組の家族の調印が行われ、締結者代表の中崎増雄さんは「この家族経営協定の締結を機に他の農業者へもメリットをPRできるようにゆとりある経営を目指したい」と挨拶されました。

本町では、今回の調印で21組の家族が協定を締結されました。



▲調印式では、5組の家族が関係者立ち合いのもと協定書に記載された事項を確認後、署名調印を行いました。



命をつなぐ！ ドクターヘリ運航開始

12月26日（月）にドクターヘリの運航が開始されました。

ドクターヘリは、医療機器や医薬品を搭載した救急医療専用のヘリコプターで、専門の医師と看護師が搭乗して救急現場などに急行し、現地で患者さんの治療を開始するとともに、いち早く医療機関へ搬送するものです。

同月6日（火）、大崎町研修センターグラウンドで行われた訓練では、運航主体となる鹿児島市立病院（鹿児島市加治屋町）や消防署員が参加し、交通事故を想定した患者搬送の手順や通信方法を確認しました。



▲ドクターヘリに患者を搬入する鹿児島市立病院の医師や消防署員



秋の味覚を満喫！ 食農交流館収穫祭

10月29日（土）に食農交流館“菜ばな”において収穫祭が行われました。

収穫祭には、町内から約100人が参加し、今年の6月に植え付けた安納芋を収穫しました。

この取り組みは、『子ども達と食育を考える』ことをテーマとしており、植え付けから収穫、調理までを家族で体験し、地元農産物への感謝や理解を深めようと企画されたものです。

参加者は、収穫した芋を使った調理や餅つき体験を楽しみながら秋の味覚を満喫し、改めて『食の大切さ』を実感していました。



▲収穫した安納芋を囲む子ども達